



GBRC 業務説明会 開催のご案内

「建築物の維持保全に関して GBRC としてできること」 ー既存鉄筋コンクリート造建築物の耐久性診断および火害診断における コンクリートの劣化深さ推定方法のご紹介ー

試験研究センター

当法人 試験研究センターでは、我が国が直面する大量の建築ストックの利活用や、建築物のライフサイクルにおいて災害に被災した場合の再利用の可否判断といった社会的な課題解決に役立てるための業務を実施しています。

本説明会では、建築ストックの維持保全に係る標準仕様書として日本建築学会より 2021 年 2 月に発刊された「建築保全標準・同解説」のうち、当センターの業務と関わりの深い JAMS 3-RC（調査・診断標準仕様書ー鉄筋コンクリート造建築物）について概説するとともに、同仕様書に示された劣化度評価の考え方にに基づき実施する耐久性診断や、GBRC に業務依頼することの利点等についてご紹介します。

また、火災にあった建築物の再利用を検討する目的で実施される火害診断では、鉄筋コンクリート造建築物においては補修範囲を特定するために被災した構造部材のコンクリートの劣化深さを推定することが重要となりますが、未だ確立された手法はありません。このような背景のもと GBRC では、「無水フェノールフタレイン溶液の呈色反応を利用した簡易調査手法」、「コンクリートの受熱温度推定方法」および「体積ひずみ測定による臨界応力度算出に基づく劣化深さ推定手法」について研究を重ねています。ここでは、これらの最新の研究成果を交え、各手法の同診断への適用性についてご紹介します。

皆様にとって有益な情報収集の場にしたいと思っておりますので、奮ってご視聴ください。

概要（開催形式・日時、定員）

開催形式および日時		定員
ウェビナー配信	2022年11月24日（木）14:00～16:00	300名

プログラム

時間	内容
14:00～14:05	開会ご挨拶
14:05～14:50	「JAMS 3-RC を用いた既存鉄筋コンクリート造建築物の耐久性診断業務」 ・診断業務および分析技術のご紹介
14:50～15:50	「火災後の建築物に関する火害診断業務」 ・診断概要およびコンクリートの劣化深さ推定手法のご紹介
15:50～16:00	閉会ご挨拶

* 下記申込フォームからお申込みください。
<https://shiken.gbrc.cloud/joins/add/119>



■お問い合わせ先

試験研究センター 構造部 耐震耐久性調査室 〒565-0873 吹田市藤白台5-8-1
TEL : 06-6834-5316 E-mail : taishin@gbrc.or.jp